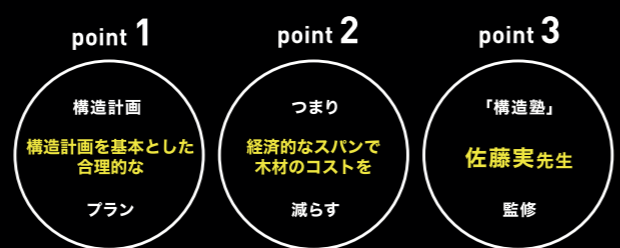


耐震性

コストパフォーマンスに優れた地震に強い家。

耐震等級3
しかも
「構造計算基準」

通常の木造2階建の住宅では、構造計算が義務付けられておらず安全性に対し根拠がない建物も存在します。ですが「耐久の家」は柱などの構造材を1本1本、強度の計算を行うことで安全性を確かなものにしていきます。しかも計算の基準は木構造における最も厳しい基準「耐震等級3」で計算しており、これは震度6強～7の地震でも、軽い補修で住み続けられるレベルです。



断熱性

それはまるで魔法瓶のような家。

国が目指す
次世代基準の断熱性能
UA値
0.56_{w/m²・K}



東京を含む UA値 地域区分6.7 において

HEAT20 G1基準

	地域区分						
	1	2	3	4	5	6	7
HEAT20 G1	0.34	0.34	0.38	0.46	0.48	0.56	0.56
ZEH基準	0.40	0.40	0.50	0.60	0.60	0.60	0.60
断熱等級4	0.46	0.46	0.56	0.56	0.75	0.87	0.87

20年メンテナンスフリーの外壁	UA値0.56 _{w/m²・K} の断熱	構造計算による耐震等級3
次世代に適した間取り	ハイクオリティな標準仕様	洗練されたデザイン

100年を考えた家。

DURABLE
耐久の家



耐久性

色褪せにくく
補修塗装の回数を削減

つまり
メンテナンスコストは
1/2

外壁で一般的に使用される窯業サイディング材の場合、
新築後から約10年ごとに塗替補習が必要となります。
しかも1回あたりの補習費用は約100万円。
あまり知られていませんが、本当の話です。
「耐久の家」で使用する金属サイディングは、
20年間塗替え補習が必要ありません。
なのでメンテナンスコストは1/2に抑えられるのです。

point 1

さらに
軽くて地震時の
家の負担が
少ない

point 2

芯材は
高い
断熱性能を
誇る

point 3

そして
フッ素樹脂塗装で
高い遮熱性
実現



5
color select



標準仕様

洗面は来客をもてなす
インテリア

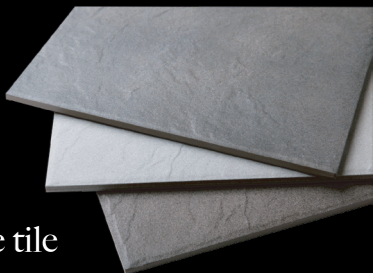
私たちの考え方では、洗面所も美しいインテリア
来客へのおもてなしと捉え、仕様にこだわり
玄関からすぐのスペースに設置しました。
外からのウイルスも最小限にし
お客様もストレスなく手を洗えるゆとりの二人立ちスペース、



Lavatory
/洗面
これからの洗面はインテリア

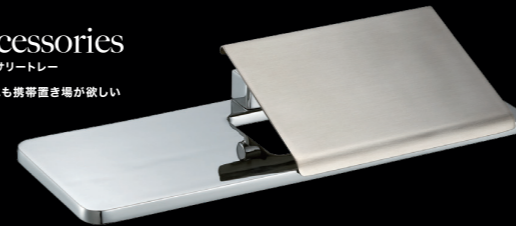


Control panel
/照明コントロールパネル
消し忘れても一括コントロール



Entrance tile
/エントランススタイル
滑りにくく、汚れにくい国産タイル

Accessories
/アクセサリートレー
トイレにも携帯置き場が欲しい



Gutter
/雨樋
デザインと耐久性で選ぶ



Interior door
/建具
この質感が空間をグレードアップ



Stones Tile
/石タイル
天然石で重厚感のある空間へ

LDK

多目的リビングが
暮らしの幅を実現する

ワークアウトやヨガもゲームでもカラダを動かす時代。
リビングは、いわば家族の用途に合わせて変化する
フレキシブルなスタジオ。広く自由度の高いリビングが
家族の暮らしの幅を広げます。

